

カンタベリー大権裁判所の検認遺産目録 —ブリストル地域を中心に—

神戸学院大学経済学部准教授 岡 部 芳 彦

— 目 次 —

- 1 はじめに
- 2 カンタベリー大権裁判所検認記録
 - (1) イギリス検認遺産目録
 - (2) 分布
 - (3) 史料の特徴
 - (4) PCC の検認遺産目録におけるブリストル地域の職業・地位
- 3 PCC の検認遺産目録のケーススタディ
 - (1) Nicholas Poole (職業：mariner、教区：City of Bristol、1729年) の検認遺産目録
 - (2) William Read (職業：不明、教区：City of Bristol、1744年) の検認遺産目録
 - (3) Thomas Mabson (職業：Victualler、教区：City of Bristol、1717年) の検認遺産目録
- 4 むすび

要約

本稿では、カンタベリー大権裁判所 Prerogative Court of Canterbury (PCC) 検認記録の中から体系的な検討が行われていない遺産目録を検討し、手稿から活字化しケーススタディを行った。

PCC は最高位の教会裁判所であり、複数の教区に財産を持つ者は、地域の教会裁判所ではなく、大権裁判所で遺産目録の検認を受けた。それらは多くの家財が査定され、様々な職業の日常を見るのに有用な史料として知られている。しかし、イギリス国立公文書館によって索引の整理が続いている段階で、詳細は分かっていない。

そこでまず、PCC のブリストル地域の検認遺産目録数の特定を試みた。そこに遺産目録を残したブリストル地域の業種の上位は、商工業者や未亡人であった。その経済的な成

功もうかがえた。

ケーススタディの結果、奴隷商人やブリストルで客死したジャマイカを拠点とする商人であったことがわかった。PCC の史料からは、各地域において見られる傾向と異なる様々な事例が出てくる可能性が高い。

検認遺産目録を使用して、地域全体を体系的に分析する場合、PCC の史料を除くと偏った結果となる可能性がある。とくに18世紀のイギリスの社会経済を分析する際には、カンタベリー大権裁判所の検認遺産目録を含めることが今後必要と思われる。

1 はじめに

本稿では、カンタベリー大権裁判所 Prerogative Court of Canterbury (以下 PCC) の検認記録の中からこれまで体系的な検討が行

われていない遺産目録を取り上げる。その中からブリストル地域に関係する検認遺産目録を用いて、まず PCC 検認記録の史料の詳細を可能な範囲で明らかにし、また手稿から活字化したのちにケーススタディを行うことによってそこに含まれる様々な職業の実像を明らかにしたい。

死亡者の動産のリストである検認遺産目録には家財に関する具体名や価値が記載されるため、それを分析すれば当時の生活の実態について多くの情報が得られるのではないかと考えられてきた。しかし、史料としての問題点も指摘され、今日まで議論が続いている⁽¹⁾。一方、地方の記録協会などによる検認遺産目録の活字化・出版は盛んに行われている。そこで本稿では、史料としての有用性や問題点を考えるとともに、手稿の活字化も平行して行い、PCC の検認遺産目録の史料としての特徴や各職業の詳細を見てみたい。

PCC は、ヨーク大権裁判所と並んで、イングランド・ウェールズで最高位の教会裁判所である。イングランド・ウェールズにおいて複数の教区に財産を持つ者は、それぞれの地域の教会裁判所ではなく、大権裁判所にて検認を受けることになっていた。そのため、それらの遺産目録は総額が大きく、多くの家財が査定され、様々な職業の日常や生活様式を見るのに有用な史料として知られている。PCC の検認遺産目録については、その重要性がこれまでも指摘されてきた。日本では中間層の研究で知られるジョナサン・バリーはそれぞれの職業における最も富んだ人々の遺産目録が PCC に含まれると指摘している⁽²⁾。また、先行研究にも PCC の遺産目録が数例収録された場合もある。ブリストルに関しては J・ムーアのグロスタシャー地域全域の検認遺産目録集に 6 例の PCC の検認遺産目録が活字化され収録されている⁽³⁾。

にもかかわらず、イギリスにおいても PCC の検認記録を体系的に検討した研究はまだ見られず、とくにそこに含まれる検認遺産目録

については現在までその全容の解明には至っていない。現在、PCC の検認遺産目録はイギリス国立公文書館 The National Archives (以下 TNA) に所蔵され、PROB 2、3、4、5 と 31、32 の各シリーズに含まれる史料が番号付けされ整理されている⁽⁴⁾。PROB 2 から 5 までのシリーズは、文書の番号の整理だけは終わっているが、遺産目録の総数でさえいまだに分かっていない。各シリーズにはイングランド各地域の遺産目録が順不同で含まれており、一つの地域の遺産目録を整理しようにも、まず索引を作る必要がある。しかし、TNA の PROB シリーズの索引には、現在まだ史料の整理が続いており、最新の整理状況はオンラインのカタログで確認が必要な旨が冒頭に記載されている⁽⁵⁾。そのような現状での各地域の索引作成は非常に困難である。また、PROB 31 シリーズを調査したところ、未整理の教会文書の束であり、遺産目録だけではなく、遺言書 will、信託宣言書 declaration of trust、遺言補足書 codicil、遺産管理者証書 administration bond などさまざまな文書が複数人ごとに雑多に含まれていることが分かった。その中から一つ一つ検認遺産目録を確認する作業が必要となり膨大な時間を要する。例えば、PCC 中のケント州に関係する検認遺産目録の索引は出版されているが、それにつづく研究書や遺産目録集は出ていない。索引を作成するだけでも一研究者の一生分の作業量といっても過言ではなく、それが PCC 検認記録の体系的な研究を妨げている一要因でもある。

幸い、ブリストル地域の PCC の検認遺産目録については、遺産目録研究の第一人者のひとり、J・ムーアが索引の作成を続けている。今回はその未刊行の索引の提供を受け、それをもとに TNA にて史料調査を行うことができた⁽⁶⁾。また平行して PROB 31 シリーズの教会文書の束から可能な範囲で検認遺産目録を選び出す作業を行った。ただ 1997 年に PCC 検認記録に関する解説書が Public Record

Office (現 TNA) より出版されて以来、それを解説する刊行物や全体を扱った研究がないことから分かります。本稿のみで PCC の検認遺産目録の全容を解明することは到底できない。

そこで本稿では、まず現在確認されている範囲で PCC の中のブリストル地域の検認遺産目録から職業の一覧を作成する。それによりどのような人々が PCC で検認を受けたのかを明らかにしたい。くわえて史料の内容だけではなくフォーマットやサイズにも触れ、PCC 検認記録自体の特徴にも言及する。それをもって PCC 検認記録の基礎研究の一つとして今後の研究に役立てたい。つづいて PCC の検認遺産目録から、ブリストル地域で最大の職業グループであるマリナー mariner 1 例と食料・酒類販売業者 victualler 1 例にくわえて職業不明の 1 例を選出し、手稿を活字化したのちにケーススタディを行う。検認遺産目録の出版はイギリスの各記録協会などによって盛んに行われており、手稿の活字化は基礎史料作成の観点からも重要な研究手法である。また、事例研究を通じて、PCC に残された検認遺産目録の傾向を見るとともに、そこで検認を受けた人々がどのような背景を持ち、どのような生活を送っていたのかを具体的に検討する。PCC の検認遺産目録の詳細を明らかにすることにくわえて、国際商業網や奴隷貿易を通じて発展した海港都市ブリストルの経済活動の担い手の実像にも迫りたい。

2 カンタベリー大権裁判所検認記録

(1) イギリス検認遺産目録

検認行為は、まず教会裁判所で遺言書を作成し、指定遺言執行者 executor の立ち会いのもとで有効となった。教会裁判所は、それぞれの教区の司祭によって統制されていた。それらの裁判所は、1858年1月11日にイングランド・ウェールズにおける遺言検認・遺産管

理が高等法院家事部 Principal Registry of the Family Division of the High Court of Justice に移管されるまで、検認に関する法令によって維持されたが⁽⁷⁾、その権限はそれぞれの教区でしか通用しなかった。

もし死亡者が、居住地の教区外に動産や財産を所有していた場合、教区裁判所は指定遺言執行者などの証人を呼び調査を行う権利はなかった。それらの遺言書は、管区 Ecclesiastical Province のすべての教区を管轄している教会裁判所、すなわち大権裁判所 Prerogative Court で検認を受け公開されねばならなかった⁽⁸⁾。イングランドにはカンタベリーとヨークに大権裁判所があった。つまり、複数教区に財産があったもっとも高額の見積り遺産目録は、一部のコピーを除いては各地域の教区には残らず、大権裁判所の検認記録に残っている可能性が極めて高い。ブリストル地域は、カンタベリー教会管区 Ecclesiastical Province of Canterbury の中にあり、仮にそこに関係するすべての遺産目録を調査する場合、PCC の検認記録も見なければならぬ。しかし、TNA 所蔵の史料は、特に PROB 31 シリーズ以降は番号付けが行われただけで、ほぼ未整理と言ってもよい状態である。それぞれの地域に関する PCC 検認記録を十分に分析できないことが、イギリスの社会経済史的背景を体系的に分析する史料として検認遺産目録が疑問視されてきた理由の一つとも言える。

史料としての検認遺産目録の問題点を挙げれば以下のとおりである。まず、死亡時に作成されたものであるため年齢が比較的高齢に偏っている可能性がある点である。たしかに消費のライフサイクルと関わるので慎重な判断が必要となるが、これについては検認遺産目録を死亡した本人のものとみなすか、それとも家族全体のものとみるかで見方が異なってくる。例えば、ブリストルの酒類・食料品販売業者 victualler であった John Saunders の検認遺産目録には、家族や使用人が使った

と思われる部屋が多く記録されている⁽⁹⁾。そう考えると検認遺産目録には、家族単位で若年層をはじめ幅広い年齢層の所有物が含まれているとも考えられる。次に、M・オバートンが指摘するように財産を残した家計や階層に偏る傾向も考えられるが⁽¹⁰⁾、総額が低く、また借金を主に記録した検認遺産目録もみられるので一概にそうは言えない⁽¹¹⁾。オバートンによるケントとコーンウォールの研究では10%の富裕層と、40%の貧困層が遺産目録には含まれず、残りの人口の50%あまりをカバーしていると推計されている⁽¹²⁾。しかし、貧困層については総額が低いものを選んで分析が可能であるし、富裕層はPCCの検認遺産目録によって史料の偏在を補うことができる。

M・スパフォードは、遺漏の可能性や総数の未確定、また品目の価格や査定 of 正確性への疑問などから、とくに農業地帯における遺産目録は史料として耐えるのかという問題提起を行っている⁽¹³⁾。それに対しては、査定方法という観点から見れば、その内容の正確性はさほど低くないとの見方も可能である。とくに商工業者の遺産目録については、査定人 appraiser には死亡者と同じ職業の者が専門家として呼ばれ、また債権者がなった事例も多い⁽¹⁴⁾。特に債権者はそれぞれの品目の査定を厳密に行ったと考えられる。また、指定遺言執行者は、死亡者の借金返済のため動産を売る必要があり、遺産目録の査定人を任命する際、「当座でその商品がどれくらいの価格で売れるのか」にしたがって動産を見積もるように求めた⁽¹⁵⁾。だとすれば、査定額もある程度は時々の実勢価格を反映していたと考えられる。ただし価格の正確性に関しては、いまだ結論がでておらず本稿では一定の傾向を見る以外は参照しない。目録の内容自体は遺漏の可能性があっても、存在しなかった物を記載した可能性はなく、その意味では手稿を活字化し、その品目からそれぞれの遺産目録やその職業の特徴をケーススタデ

ィを行うのがもっとも有効な分析手法であると考えられる。

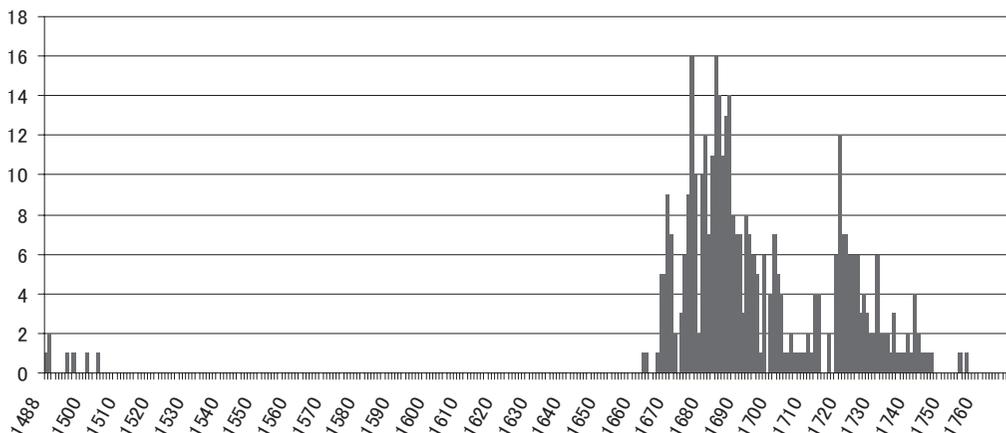
検認遺産目録と他の史料との照合・結合も方法の一つである。ブリストル市公文書館 Bristol Record Office の手稿史料から酒類・食料品販売業者1例をケーススタディした際は、2つの商工人名録と照合し、その内1つと合致した⁽¹⁶⁾。しかし、ブリストル地域全体での他史料との照合は先行研究でも試みられ、一致するのは数%に満たないとの結論がだされている⁽¹⁷⁾。そのためブリストル地域や検認遺産目録の体系的な分析を行う際には、かならずしも有効な方法とは言えない。また、同じく検認記録である遺言書 will と照合を行うことも可能であるが⁽¹⁸⁾、家族史的な視角よりは史料としての検認遺産目録とその内容分析が本稿の目的なので今回は行わない⁽¹⁹⁾。よって本稿では、主にPCCの検認遺産目録を用いて、その活字化とケーススタディを中心に行いたい。

(2) 分 布

PCCの検認遺産目録の史料の残存状況を見てみよう。図1はPCCにおけるブリストル地域の各年の検認遺産目録数を現在確認できた範囲で整理したものである⁽²⁰⁾。もっとも古いものは1488年に1例見られ、1680年代をピークに減少する傾向である。1488年から1503年まで7例の検認遺産目録しかなく、また次に遺産目録が残っているのは1662年から160年あまりの間はまったく見られない。他のPROBシリーズにまだ確認できていない遺産目録があるかもしれないが、それにしてもあきらかに不自然な分布である。

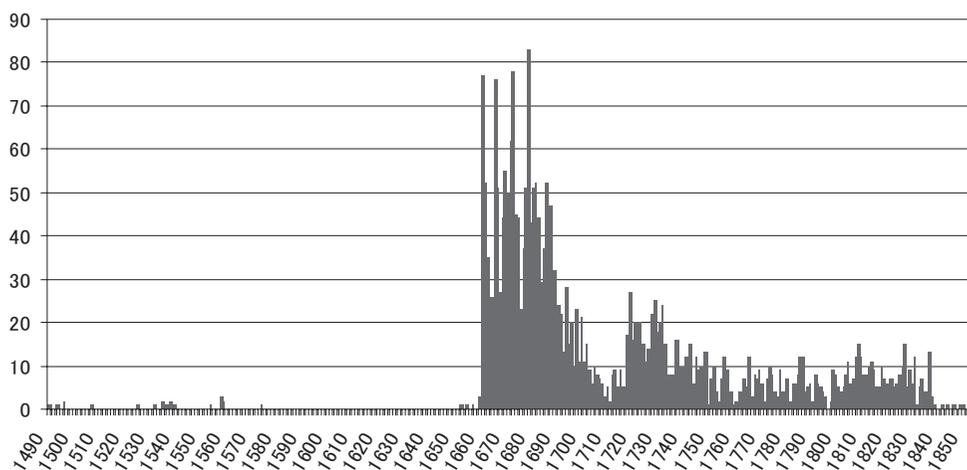
PCCにおける遺産目録数の偏在は、ブリストル地域のみ傾向であるかもしれないので、他の地域とも比較したい。現在PCCの検認遺産目録の地域別の完全な索引は、ケント地域のみしか整理されていない⁽²¹⁾。この索引をもとにPCCにおけるケント地域の各年の検認遺産目録数を整理したのが図2であ

図1 PCCにおけるブリストル地域の検認遺産目録数



出典：Moore, *Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA*.

図2 PCCにおけるケント地域の検認遺産目録数



出典：Rickard, *Kent Probate Inventories In the Prerogative Court of Canterbury 1490-1854*.

る。PCCに残るケント地域の検認遺産目録は2,786例で、その分布にはブリストル地域と似た傾向が見られる。1660年代より急増しているが、それまでは26例しか残っていない。しかも1661年には、それまで各年に1～3例

しか見られなかったのに対して、突然77例が見られ、その後も1680年代まで多くの遺産目録が残る傾向がつづく。

この2つの図だけを見れば、17世紀半ばより急に検認遺産目録の作成が盛んになったと

捉えられなくもない。しかし、ブリストル市公文書館に残るブリストル地域の各年の検認遺産目録数と比較すれば、1600年代より少しずつ増加し始め1630年代に一度目、1730年代から50年代にかけて二度目のピークを迎え、その後徐々に減少し、分布の偏りはあきらかに少ない⁽²²⁾。またPCC検認記録における遺言書に関する先行研究では、1401年から1626年までの各年の分布があきらかにされているが、多くの遺言書が残されただけでなく、年を追うごとに上昇していく傾向が見られる⁽²³⁾。よって17世紀半ば以降の急激な増加は、PCCに残る検認遺産目録のみの傾向と考えるとよいだろう。

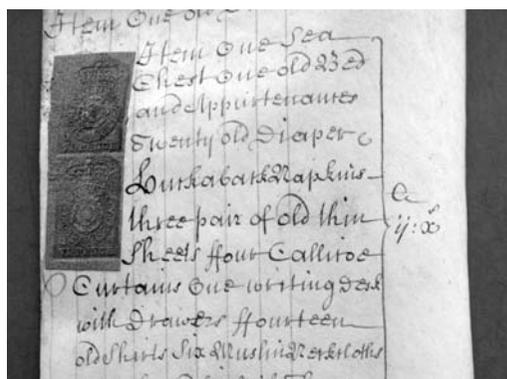
PCCにおけるブリストル地域とケント地域の各年の遺産目録数からは、これ以上のことは分からないが、はっきりとしているのは、何らかの要因で17世紀半ば以前のPCCの検認遺産目録は失われてしまった可能性が高いことである。理由としては、まず清教徒革命の影響が考えられる。この時期、PCCによる検認は、国王派のオックスフォードで行われていた⁽²⁴⁾。また、議会側のロンドンでも検認が行われたが、オックスフォード陥落後、記録が統合された。しかし遺言書に関しては多くが失われたためロンドンで再度検認された⁽²⁵⁾。PCCの検認遺産目録もイングランド内戦の混乱で大半が失われた可能性がある。別の要因としては、死者の最近親者、または財産を相続する資格のある者 next to keen が死んでしまえば、検認記録を保管しておく必要もあまりなく、一定の保管期限が過ぎたのちに廃棄されてしまったのかもしれない。ただ遺言書のほうが現在でも残っていることを考えると、相続手続きにおいて重要性の低い文書から先に廃棄され、それが遺産目録であったとも考えられる。いずれにせよ、PCCの検認遺産目録を用いて体系的な分析を行うことができるのは17世紀中期以降であることはわかる。

(3) 史料の特徴

ここでは検認遺産目録の用紙に注目したい。PCCの検認遺産目録の多くには、検認の申立費用として2ペンスの証紙が貼られエンボスされているが⁽²⁶⁾、図3のようにその証紙を回り込む形で記載され作成されている。ここからは、先に検認遺産目録を作成したのちに申立費用を支払い検認を受け証紙が貼られたのではなく、申立費用を支払ったのちに証紙が貼られた用紙の交付を受け、その上に作成されたと考えられる。これらの用紙からはこれ以上のことは分からないが検認のプロセスの解説はあっても⁽²⁷⁾、具体的にどの手順で遺産目録が作成されたのかについての研究は見られずその詳細は現在のところ不明なままである。ブリストルのような遠方から検認を受ける場合、申立費用の証紙がエンボスされた後に作成されたことから、用紙を一度取りにPCCに行ったとは考えにくいので、申立費用を支払った用紙に、持参した下書きを後から筆写したのではないかと考えられる。

つづいて用紙のサイズを見てみよう。ブリストル市公文書館に所蔵されている検認遺産目録はそのほとんどが16.5インチ(42cm)×13.4インチ(34cm)の紙に書かれ、8.3インチ(21cm)×3.1インチ(8cm)のサイズに折りた

図3 PCCの検認遺産目録の証紙部分



出典：PROB 3/19/48, TNA.

図4 PCCの検認遺産目録の原本



(左) 18世紀半ばまでに見られる形式。



(右) 18世紀後半に見られる形式（上は18世紀前半のものを比較対象として置いた）。

出典：PROB 3/19/48, PROB 32/42/92, TNA.

たまれている。また教区が違っても同じ製造業者によって作られた用紙に記載されており、そこからは大きさや書式に関するフォーマットがあり、法的文書として正確な様式に則った作成が義務付けられたことが窺える⁽²⁸⁾。一方、PCCにおけるブリストル地域の検認遺産目録の用紙のサイズは、1750年頃を境として図4のように全く異なっている。18世紀半ばまでは、遺産目録の品目に合わせて、長さ26インチから33インチ前後(約66cm～84cm)×横5インチ(12.7cm)の紙が連結されて一枚の巻紙として作成されている。6m以上にも及ぶ一枚の巻紙となっている例もあれば、連結されることなく一枚で終わっているものもある⁽²⁹⁾。

PROB 31シリーズに含まれる1750年代以降の検認遺産目録は、冊子体のものがほとんどであり、縦15インチ(約38cm)×横12.5インチ(約31.75cm)の紙を中心に折りたたみ、それぞれのページは約15インチ×約6.25インチで統一されている。このことから18世紀の中盤でPCCの検認遺産目録のフォーマットに大幅な変更があったことがわかる。変更の理由は不明であるが、18世紀後半の冊子体のほうが史料を確認する際も見やすく、利便性

向上のためであったと思われる。

(4) PCCの検認遺産目録におけるブリストル地域の職業・地位

それではブリストル地域においてどのような人々がPCCで検認を受けたのかをみてみよう。表1はPCCに含まれるブリストルの検認遺産目録の職業・地位をまとめたものである⁽³⁰⁾。83種の職業・地位が含まれ、最も数が多いのは海港都市ブリストルで最大の職業グループであるマリナー(51例)である。マリナーの遺産目録には水夫や下級船員から富裕な貿易商などまでが含まれ、非常に幅広い社会階層を指す職業であることが分かっている⁽³¹⁾。PCCの検認遺産目録は複数教区に財産を持ち、その総額も大きいものがほとんどであり、これらのマリナーは社会階層では上位に位置すると考えられる。ただその職業名もしくは地位別の遺産目録数の順位を見れば、4位のジェントルマンを名乗る人々よりもマリナーや商人 *marchant* や未亡人 *widow* の数が多い。これらの職業がジェントルマンよりも多くの検認遺産目録をイングランドで最もステイタスが高いPCCで残したということは、18世紀における彼らの地位の高さが

表 1 PCC の検認遺産目録におけるブリストル地域の職業・地位

| | 職業・地位 | 遺産目録数 | | 職業・地位 | 遺産目録数 |
|----|----------------|-------|----|-----------------------|-------|
| 1 | Mariner | 51 | 43 | Chapman | 1 |
| 2 | Merchant | 42 | 44 | Clerk(in Holy Orders) | 1 |
| 3 | Widow | 27 | 45 | Clothier | 1 |
| 4 | Gentleman | 22 | 46 | Clothworker | 1 |
| 5 | Grocer | 15 | 47 | Confectioner | 1 |
| 6 | Cooper | 11 | 48 | Currier | 1 |
| 7 | Soapmaker | 11 | 49 | Dame | 1 |
| 8 | Esquire | 7 | 50 | Distiller | 1 |
| 9 | Whittawer | 5 | 51 | Doctor of physic | 1 |
| 10 | Apothecary | 4 | 52 | Druggett-maker | 1 |
| 11 | Brewer | 4 | 53 | Dyer | 1 |
| 12 | Linen-draper | 4 | 54 | Freemason | 1 |
| 13 | Mercer | 4 | 55 | Goldsmith | 1 |
| 14 | Victualler | 4 | 56 | Haberdasher | 1 |
| 15 | Vintner | 4 | 57 | Haberdasher of hats | 1 |
| 16 | Alderman | 3 | 58 | House-carpenter | 1 |
| 17 | Baker | 3 | 59 | Ironmonger | 1 |
| 18 | Shipwright | 3 | 60 | Malster | 1 |
| 19 | Spinster | 3 | 61 | Marshal | 1 |
| 20 | Tailor | 3 | 62 | Mathematician | 1 |
| 21 | Tobacconist | 3 | 63 | Mayor | 1 |
| 22 | Anchor-smith | 2 | 64 | Oilman | 1 |
| 23 | Barber Surgeon | 2 | 65 | One of the Sheriffs | 1 |
| 24 | Butcher | 2 | 66 | Perfumer | 1 |
| 25 | Draper | 2 | 67 | Pinmaker | 1 |
| 26 | Glazier | 2 | 68 | Ropemaker | 1 |
| 27 | Hooper | 2 | 69 | Sadler | 1 |
| 28 | Horner | 2 | 70 | Salter | 1 |
| 29 | Hosier | 2 | 71 | Seaman | 1 |
| 30 | Innholder | 2 | 72 | Sergemaker | 1 |
| 31 | Knight | 2 | 73 | Skinner | 1 |
| 32 | Physician | 2 | 74 | Starchmaker | 1 |
| 33 | Soapboiler | 2 | 75 | Stuff-maker | 1 |
| 34 | Tanner | 2 | 76 | Sugar-boiler | 1 |
| 35 | Baronet | 1 | 77 | Surgeon | 1 |
| 36 | Black smith | 1 | 78 | Tobacco-cutter | 1 |

| | 職業・地位 | 遺産目録数 | | 職業・地位 | 遺産目録数 |
|----|----------------|-------|----|-----------------|-------|
| 37 | Bodice-maker | 1 | 79 | Upholsterer | 1 |
| 38 | Bridler-cutter | 1 | 80 | Watchmaker | 1 |
| 39 | Brushmaker | 1 | 81 | Weaver | 1 |
| 40 | Button-maker | 1 | 82 | Wheelwright | 1 |
| 41 | Cabinet-maker | 1 | 83 | Woollen-drapper | 1 |
| 42 | Carrier | 1 | | No Occupation | 88 |
| | | | | 合計 | 396 |

出典：Moore, Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA.

うかがえる。

また、それ以上にここで検認を受けた人々の特徴は、1例の准男爵 Baronet や2例の騎士爵 Knight を除けば、そのほとんどが商工業者だったことである。ジェントルマンに続く第5位は15件の食料品商 Grocer、11件の樽製造業 Cooper、同じく11件のせっけん製造業 Soapmaker がつづく。地位の高さだけでなく、これらの職業の経済的な成功がうかがえる。

マリナー mariner や酒類・食料品販売業者 victualler の他にも海港都市ブリストル特有の仕事が多く見られる。たとえば、樽製造業 cooper が製造する樽は、航海に際して飲料水やワインの保存に必要であり、ブリストルでこの業種が多いのは当然である⁽³²⁾。hooper は関連する職業であり、たが hoop を作るとともに、それを外して使い古された樽の解体や修理も行った。その他にも船大工 shipwright や錨工 anchorsmith なども見られる。

ブリストル市公文書館に残る検認遺産目録には251の職業が含まれている⁽³³⁾。そこには見られず PCC のみに残る職業・地位は9つである。その中でも香水商 perfumer の John James Bieisse (1707年)⁽³⁴⁾、数学者 mathematician の Anreline Jenner(1714年)⁽³⁵⁾、菓子職

人 confectioner の Joseph Kippen (1719年)⁽³⁶⁾ の事例は、イングランド全体の検認遺産目録でもほとんど見られない職業であり、検討に値すると思われる。ただし、これらの遺産目録を活字化し分析を行うには本稿だけでは十分な分析ができないので次の検討課題とした。

3 PCC の検認遺産目録のケーススタディ

PCC に残る検認遺産目録は高額なものが多いため、その内容も豊富で文書のページ数も非常に多い。しかし、それは活字化の作業も非常に時間がかかることを意味し、それが現在に至るまで PCC に関する体系的な研究や検認遺産目録集の出版を妨げている理由の一つと思われる。そこで、本稿では、可能なかぎり活字化したのちにケーススタディを通じてその詳細をみたい。それにより PCC の検認遺産目録の特徴をあきらかにしつつ、それぞれの職業の実態も具体的に検討する。

本稿では PCC に残る検認遺産目録の中から海港都市ブリストルに関係の深い海事関係の職業をはじめとして3例を選んだ。選出方法は以下のとおりである。まず、ブリストルが大きく発展し、論者の主な研究対象時期で

ある18世紀から行う。これは史料の残存傾向からももっとも適切である。これまでの研究でもブリストル公文書館の検認遺産目録の手稿原本から活字化しケーススタディを行ってきた。その中からブリストルの最大の職業グループであるマリナーを本稿ではとりあげたい。PCCにはブリストルのマリナーとして現在確認されているのは51例、そのうち18世紀に12例が現存している。その中から18世紀中で最も高額な£1,345のNicholas Poole (1729年)を取り上げる⁽³⁷⁾。そしてもう1例は、未整理の教会文書の束であるPROB 31シリーズで検認遺産目録と確認できた中から取り上げたい。PCCに含まれるブリストル地域の検認遺産目録には、職業の記載がない、もしくは不明なものが88例ある。その解明のため、TNAの索引で職業が不明となっているWilliam Read (1744年)を選んだ⁽³⁸⁾。くわえて以前から研究を続けている食料・酒類販売業者 *victualler* からも1例を選出する(Thomas Mabson, 1718年)⁽³⁹⁾。

なお手稿からの活字化に際しては綴り違い、改行、注記などできるかぎり原史料に近い形で記載した⁽⁴⁰⁾。また日本では、刊行された遺産目録集を用いた研究も見られる⁽⁴¹⁾。そこで国内外での史料としての今後の活用も考慮して原語のままとし、ラテン語や短縮語などには可能なかぎり注釈をつけた。それぞれの事例に表1から3の番号をつけた。

(1) **Nicholas Poole (職業: mariner、教区: City of Bristol, 1729年) の検認遺産目録**⁽⁴²⁾

ブリストル市公文書館に残るマリナーの検認遺産目録1,675例の内1,486例は研究者の間で *wage due inventories* と呼ばれている⁽⁴³⁾。これらの遺産目録は、艦艇での戦闘など海上任務において死亡したマリナーのものであり、戦死者への扶養手当支給のための資料として、死亡者の最後の航海の賃金、艦艇名、指揮官や艦長名だけが、艦長や士官によって記載されたもので総額も非常に低い⁽⁴⁴⁾。こ

れらを分析すればイギリス海軍における戦死者の待遇の実態などの解明が可能であるが、日常生活や消費財の分析には向かない。

ブリストルで£50以上の検認遺産目録を残したマリナーの大半は、その内容からワインやチーズなどの通常の貿易を主な業務にしていたようである⁽⁴⁵⁾。それに対してPooleの検認遺産目録の内容からは、彼が奴隷貿易に従事していたことがわかる。遺産目録から奴隷商人の実生活の詳細を見ることができる事例は稀である。

Pooleが奴隷貿易に従事していたことは、この目録中に船名Morning Starr号が記載されていることから分かる。この船名とNicholas Pooleの名前が奴隷貿易に関する史料集で確認できるからである。Morning Star号は1712年にブリストルで建造され、記録が残る奴隷貿易の航海は1713-14年⁽⁴⁶⁾、1716-17年⁽⁴⁷⁾、1717-18年⁽⁴⁸⁾、1720年⁽⁴⁹⁾の4つである。最初から3つの航海では船長MasterはNicholas Pooleとなっているが、彼の遺産目録中の勘定残高Balance of accountに父親の名前もNicholas Pooleであった旨が記載されているため、すべての航海が彼によるものか分からない。ただ、後から2つの航海は、Nicholas Poole, Jr.と明記されているため、遺産目録を残した本人によって行われたと考えてよいだろう。その航海について一例を挙げれば、1717年9月14日にNicholas Pooleを船長に17名の乗員を乗せブリストルを出港した。アフリカに寄港した後、1718年5月16日にバルバドスに到着、アフリカで仕入れた167名の奴隷の内134名をそこで降ろし、1718年8月8日にブリストルに帰港した。

PooleはMorning Star号の8分の1の共同所有者であったが、一隻だけではなくギニアから帰港したAlex (ande) r Pink号の10分の1、ドックで修理もしくは点検中のAnn Gally号の7分の1も所有していた。ここからは奴隷貿易をはじめ複数の船を使って

手広く貿易業を営んでいたことがうかがえる。また、投資にも関心があり、£200にも及ぶ南海会社の債権も所有していた。また、「Jacob Elton の手形」も査定されている。これはブリストル市長を務め庶民院議員にもなった Abraham Elton 2 世 (1679-1742年) の兄弟で奴隷商人として知られる Jacob Elton であると思われる⁽⁵⁰⁾。

PCC におけるブリストル地域の検認遺産目録には多くの樽製造業 cooper の遺産目録が見られるが、この Poole の品目にも多くの樽が記録されている。例えば、1 樽あたり 9s で査定され総額が£124 4s となっているので、276樽が彼の家屋もしくは店舗に貯蔵されていた。その他に60樽も査定されており、ブリストルのような海港都市では樽製造業である cooper や hooper の役割が大きかったことがこの遺産目録からも確認できる。

9 stone⁽⁵¹⁾ の象牙 Elephant Teeth のほか、西アフリカ産のマメ科の高木であるカムウッド Camwood も記録されるなど、アフリカ貿易との関係の深さをうかがわせる。

「到着した際は病気であった4人の黒人」も Item として査定されている。また、目録の終盤では、his black boy が査定されている。18世紀のブリストルを描いた絵画にも黒人の召使いが描かれることが多々あり⁽⁵²⁾、また奢侈品と見なされていた⁽⁵³⁾。この事例も£20と高額の査定をされており、同様であったと思われる。18世紀を通じて奴隷貿易で栄えたブリストルであるが、そこに住んでいた人間が動産として検認遺産目録に記録されている例は、管見のかぎりブリストル市公文書館には残っていない⁽⁵⁴⁾。また他の地域の検認遺産目録集も含めて、現在確認できた中ではこれが唯一の事例である⁽⁵⁵⁾。

PCC におけるブリストル地域の検認遺産目録

表 1 Nicholas Poole (職業 : mariner、教区 : City of Bristol、1729年) の検認遺産目録

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| A True perfect and particular Inventory | | | | |
| of all and singular the Goods Chattles | | | | |
| and Creditts of Nicholas Poole late of | | | | |
| the City of Bristoll Marriner deced* taken valued and | | | | |
| appraised by James Peare & Christopher | | | | |
| Redwood the Sixth day of August | | | | |
| in the Year of our Lord 1720 as follows | | | | |
| viz† | | | | |
| Imprimis‡ the Deceds wearing | } | 7 | 0 | 7 |
| Apparell valued at | | | | |
| Item his Chest, Books & Instrumts§ | | 1 | 0 | 0 |
| Item the one tenth part of the Alexi** | } | | | |

| | | |
|------------------------------|---|-----------|
| | Pink & her Appurts as she came home from Guinea the whole Ship valued at 250 £ | } 25 0 0 |
| one Crate 9 ^{li} . | Item one Seven th part of the Ann Galley & Appurts ^{††} as she now lyes in Ald ^{n††} Clements Dock the whole at 200 £ | 28 11 5 |
| 12 Warps of Earthen Juggs | 0 at 200 £ | |
| 13 | Item two hundred seventy six Barrells of Pitch valued at 9s p ^{ss} Barr ^{ll} | } 124 4 0 |
| 6 | Item Seventy four Barrells of Tarr at 5s per Barrell | } 18 10 0 |
| 5 Eliphants Teeth 10 | Item one Cask wh 9. 112 ^{l***} pewter returned from Sea at 7 ^d per pound | } 3 5 4 |
| valued 7 £ p C | Item two doz Black hafted knives returned value | } 0 2 6 |
| 12 | Cash in his Chest | 0 5 3 |
| 6 | Item 9 C ^{†††} 12 q ^{ts†††} 00 of Cam wood value | 19 19 0 |
| | Item one Eliphants Tooth 9 ^{st.} 15 ^{li.} at 7s 10 ^d per C value | } 1 0 0 |
| | Item sixty Barrells of Pitch more at 9s p Barrell per Eagle | } 27 0 0 |
| | Returned Goods on the General Cargos p the Alex ^r viz ^t | 258 13 6 |
| | | £ s d |
| | Imprimis No.1 . four Cases contg ^{sss} 233 peices blew at 16s | } 186 8 0 |
| | Item four peices ditto Ratt eaten 8s each | } 1 12 0 |
| | Item five Remnants ab ^{t****} | } 0 4 0 |

| | | | |
|--|---|----|------|
| half peices Value | | | |
| Item a Case containing 44 ½ peices photasatts at 15s | } | 33 | 7 6 |
| Item fourteen D° damaged at 7s 6d Each | } | 5 | 5 0 |
| Item thirty three Cutlases 11s each | | 18 | 3 0 |
| Item 10 D°+++ damaged at 5s 6d each | | 2 | 15 0 |
| Item ten Tapsells at 12s each | | 6 | 0 0 |
| Item one hundred Caggs cont ^s each 6 ^{li} is 600 ^{li} powder at 3 ^{li} p 100 | | 18 | 0 0 |
| Item eight quarter Barrells 9 ^{li} 133 ^{li} at 30s p C | } | 2 | 0 0 |
| Item 158 Cutlases at 7 ^d each | | 4 | 12 2 |
| Item eleven D° Slop point Knives at 12 ^d | | 0 | 11 6 |
| Item Eighteen y ^{ds} +++ & half of Scarlet Cloth & one peice Bayes | } | 13 | 10 6 |
| Item three hundred & forty Amabases 15 ^d p | | 21 | 5 0 |
| Item ten D° damaged at 7 ½ p | | 0 | 6 3 |
| Item twenty English Necke ers at 10s Each | | 10 | 0 0 |
| Item five D° damaged at 6s 9d each | | 1 | 13 9 |
| Item 7 English Brawles damaged at 3s 3d | } | 1 | 2 9 |
| Item four peices & half Calico 10s each | | 2 | 5 0 |
| Item four Chest & loose 106 Guns at 7s Each | } | 37 | 2 0 |

| | | | | |
|---|---|-------|----|--------------|
| Item one hundred fifty Eight Barrs of Iron 9 ^{li} 36 . 2 . 18 at 16 ^d p C | } | 29 | 6 | 9 |
| Item five Doz ^{ssss} looking Glasses | | 1 | 10 | 0 |
| Item five Crates 9 ^{li} 63 1/2 warpe 1/2 Earthen ware at 13 1/2 ^d p ll | | 3 | 11 | 5 1/4 |
| Item two full Cases of Spirits and old D ^o | | 0 | 10 | 0 |
| Item four Negroes as they came home all Sick at 10 ^e 10 ^s p head | | 42 | 0 | 0 |
| | | <hr/> | | |
| | | 443 | 1 | 1 <u>1/4</u> |
| his one tenth part of this sum | | <hr/> | | |
| | | 44 | 3 | 1 <u>1/4</u> |
| | | <hr/> | | |
| | | 302 | 16 | 7 1/4 |

An Additional Inventory of the Goods
Chattles & Credits of the aforesaid
Nicholas Poole deced taken valued
and appraised by Christopher Redwood
& Benoni Chimor as follows viz^t

| | | | | |
|--|---|-----|----|----|
| Impris the one Eighth part of the Morning Starr & her Apparell as She came home from Guinea the Ship Stores belonging to her valued at two hundred pounds | } | 25 | 0 | 0 |
| Item 0 ^C 2 qrs 0 li Brass Pans on his particular Account at 7 ^e p C | } | 3 | 10 | 0 |
| Item Ballance of Account with his Father Nicholas Poole | } | 133 | 10 | 63 |
| Item two hundred pound Stock in the South Sea | } | 200 | 0 | 0 |

| | | | |
|--|------|----|--------|
| Item a Note of Eliz Chanteys hand | 100 | 0 | 0 |
| Item a note of Jacob Eltons hand | 100 | 0 | 0 |
| Item his black boy | 20 | 0 | 0 |
| Item Sundreys due in Account | 470 | 0 | 3 3/4 |
| | 1052 | 0 | 10 1/2 |
| suma totalis | | | |
| huius Inven ^{rii} ***** | 1354 | 17 | 5 3/4 |

Hill

Exhibitum fuit huimoi Inven^{rium}

quarto die Mensis ^{Novris} Anno Doni 1729 per

Mum Georgium Hill Notarium Pubium

Procurem pro extore juro vero pleno et

perfecto Inventario &c Sub protestacne

Tamen de Addendo &c si &c

Ex

出典：PROB 3/228/149, TNA.

(2) William Read (職業：不明、教区：City of Bristol, 1744年) の検認遺産目録

TNA の索引では、この検認遺産目録は mariner の 'William Mead' のものとされている。しかし、史料を確認したところ、William Read の間違いであった。TNA における PCC の検認遺産目録の索引はいまだ整理が続いており、同様の誤記は少なからず見られる。

Read の遺産目録で、まず目立つのが現金 Ready money が £1,312 1s 1d と非常に巨額なことである。ここまで巨額な現金が記録された事例は非常に少ない。これだけを見れば理由は分からないが、他の品目や項目と見

比べることによって、彼の死亡時の状況が浮かび上がってくる。

この遺産目録にはキッチン関係の品目がまったく査定されていない。ただ、Poole の事例もキッチン関係の品はまったく査定されておらず、店舗の在庫や債権のみが査定されることもあるので、必ずしも不自然ではない。しかしこの Read の事例では多数の日用品が査定されている。ベッド関連の品目は、ベッドカバーから枕、枕カバーに至るまで詳細に査定されている。ナイトキャップは9つも所有していた。それらは9つのトランクに入れられていたようである。また衣類も30品目にわたり細かく査定されている。白のシルク製

キヤムレット織の高級コートをはじめ緋、赤、青、黒などさまざまなコートも見られる。さらにダイヤモンドのリングなど各種の宝飾品も多数所持していた。

つづいて、63名分、£874 18s 5. 3/4d におよぶ債務者リストが続く。その冒頭に「死亡した際に所持していた彼の会計簿にジャマイカの通貨」で記載されていた旨が記されている⁽⁵⁶⁾。ここからは、Read がブリストルではなく、ジャマイカを拠点としていたことがわかる。そうなれば、巨額の現金を所持しキッチン関係の品目がまったく査定されていない理由も理解できる。Read は必要な現金と寝具や衣類を携え、商用でブリストルに滞在中に客死したと考えられる。P・スバフォドによれば、債務者リストは取引相手を意味し⁽⁵⁷⁾、Read も多くの商工業者と信用取引を行って

いたことが分かる。債務者リストの額も含めて、ジャマイカの通貨で Read の会計簿に記載されていると何度も強調されていることから、ジャマイカで取引を行った業者と考えてよいだろう。巨額の現金を所持していたことから、ブリストルでの取引は主に現金決済で行われたと考えられる。

この William Read の事例は、史料としての検認遺産目録を解釈する上でも興味深い。通常の遺産目録はそれぞれの教区で、複数教区に財産を持つ場合は PCC で検認されたが、海外からの来訪者が旅先で客死したケースは非常に稀である。Read の事例からは、債権などがジャマイカに存在するため、複数教区の事例に当たるということで、規定どおりに PCC において検認が行われたことがわかる。

表 2 William Read (職業：不明、教区：City of Bristol、1744年) の検認遺産目録

An Inventory and appraisment
of all and singular the Goods Chattels and Credits of
William Read late of the parish of Christ Church
otherwise the Holy Trinity in the City of Bristol
Batchelor deceased taken valued and appraised the
Twenty fourth day of March in the Year of our Lord One
Thousand Seven Hundred and Forty three and afterwards
by Adjournment on the Second, third, fourth, fifth, Sixth
and Seventh days of April in the Year of our Lord One
Thousand Seven Hundred and Forty Four by us whose
Names are hereunto Subscribed by Virtue of a Commission
of the Prerogative Court of Canterbury as follows

| | £ | s | d |
|---|------|----|---|
| First....The Deceased's ready money | 1312 | 1 | 1 |
| Also.... His Wearing apparel (to wit) | | | |
| One blue grey Coat with Silver'd button | 1 | 10 | . |
| One white Silk Camblet Coat | 1 | 5 | . |
| One Scarlet Coat with black Trimmings | . | 10 | . |
| One Blue Grey Coat with Brass Buttons | . | 7 | . |
| One Red Coat | . | 5 | . |
| One black Silk Coat | 1 | . | . |
| One Scarlet Waistcoat with Silver Lace | 1 | . | . |
| One Pink Coloured Padusoy Waistcoat | . | 10 | 6 |
| One black Velvet Waistcoat | 2 | 2 | . |
| One Brocade Waistcoat | 2 | 2 | . |
| One Buff Coloured Lapelle Waistcoat | . | 10 | . |
| One pair Black Velvet Breeches | . | 7 | 6 |
| One pair White Silk Camblet Beet Breeches | . | 5 | . |
| Six pair of Breeches | . | 14 | . |
| One Gold Laced Hat | . | 2 | 6 |
| One plain Hat | . | 2 | . |
| One Brown Wigg | . | 2 | 6 |
| Twenty Six pair of White Stockings | 1 | 6 | . |
| One Buckle | . | 15 | . |
| One Umbrella | . | 2 | 6 |
| One Red Great Coat | . | 3 | . |
| Five pair of Pumps | . | 15 | . |
| Nineteen Holland Waistcoats | 3 | 10 | . |
| Three Books | . | 2 | . |
| Three Cravets | . | 2 | 6 |
| Four Razors | . | . | 6 |
| Six pair of Holland Breeches | . | 6 | . |

| | | | |
|------------------------------------|-----------|-----------|---|
| Twenty three Shirts | 5 | 5 | . |
| One pair of Holland Drawers | . | . | 6 |
| Two pieces Spotted Cotton | . | 5 | . |
| Three pair of Black Silk Stockings | . | 5 | . |
| | <u>25</u> | <u>13</u> | . |

Also.... The deceased's Bedd and Table Linnen and other

Goods and things as followeth (to wit)

| | | | |
|----------------------------------|------------|-----------|----------|
| One Table cloth | . | 2 | . |
| Nine Sheets | . | 18 | . |
| One Quilt | . | 3 | . |
| One Counterpane | . | 5 | . |
| One Bolster and Pillow | . | 2 | 6 |
| Two printed Linnen Pillow Cases | . | . | 8 |
| Six pair of Coloured Stockings | . | 6 | . |
| Seven White Hankerchiefs | . | 5 | . |
| Seventeen Napkins | . | 17 | . |
| Three Cambrick Hankerchiefs | . | 4 | 6 |
| A Bed Covering | . | 5 | . |
| One piece of Printed Linnen | . | 2 | . |
| One old Silk Banyan | . | . | 6 |
| Six dozen of White metal Buttons | . | 2 | . |
| Two Groce of Shirt buttons | . | . | 6 |
| One pound of White Thread | . | 5 | . |
| Nine Night Caps | . | 2 | 6 |
| A Parcel of Writing Paper &c | . | 10 | . |
| Nine Trunks | 1 | 5 | . |
| | <u>£ 5</u> | <u>16</u> | <u>2</u> |

Also The deceased's Rings and other Ornaments

and things used by him(to wit)

| | | | |
|---|-------|----|---|
| One Rose diamond Motto Ring | 3 | 10 | . |
| A Cluster Rose diamond Ring | 3 | 3 | . |
| A Split Shank Ring 3 diamonds | . | 10 | 6 |
| A Ring with one Rose diamond Left in it | . | 6 | 6 |
| A Christal Shirt buckle | . | 5 | . |
| A Gold Watch Chain Seal and Lockett | 15 | 15 | . |
| A Gold headed Cane | 3 | 3 | . |
| A Whiten hilt Cutto | . | 5 | . |
| A Silver hilt Sword | 1 | 5 | . |
| | <hr/> | | |
| £ | 28 | 3 | . |

Also.. Debts appearing to be due and owing to the

Deceased at the time of his death on his Books

of Account being Jamaica Currency

| | | | |
|---|----|----|--------|
| From.. George Knight | 6 | 13 | 1 1/2 |
| Robert Patterson | 3 | 12 | 6 |
| Ann Record | 9 | 17 | 10 3/4 |
| George Morgan | . | 13 | 9 |
| Robert Turner | 5 | 15 | 6 1/2 |
| Ezekiel Barbauld | 1 | 2 | 6 |
| Clement Hoy | 1 | . | . |
| Philip Edmunds | 2 | 9 | . |
| Elizabeth Stoddard | 3 | 10 | 7 1/2 |
| Benedicta Hall | . | 10 | . |
| Daniel Nunes Fernan | . | 10 | . |
| Thomas Beckford Esq ^{re} .†††† | 45 | 16 | 4 |
| Evan Jones | 1 | 18 | 9 |
| Captain Renolds | 4 | 10 | 7 1/2 |

| | | | |
|---|------|----|--------|
| Timothy Driskill | 2 | 3 | 2 |
| Manasseth Parara - for which there is also his Note of hand | } 51 | 11 | . |
| Lewens and Murray | 1 | 2 | 9 1/2 |
| James Johnson | 20 | 7 | 9 |
| Mr. Morgan | 4 | 16 | 10 1/2 |
| Isaac Tauro for which there is also his Note of hand dat#### 24 June 1737 | } 26 | 6 | 10 1/2 |
| Mary Dawkins | 7 | 10 | . |
| Jacob Parara | 13 | 19 | 3 |
| David Nunes Froys | 1 | 4 | 3 |
| Richard Clark | 181 | 7 | 7 1/2 |
| William Goodwin | 1 | 8 | 9 |
| Matthew Corr | 3 | 7 | 10 1/4 |
| Estcourt Duckinfield for which there is also his Note of hand for 18,,7,,6 | } 18 | 10 | . |
| George Wane | 2 | 18 | . |
| Estate of Daniel Thomas dec ^{ed} | 64 | 12 | 9 3/4 |
| Joseph Smith | 7 | 3 | 9 1/2 |
| Isaac Alvin | . | 10 | 2 1/2 |
| Nicholas Gunnery | 1 | 19 | 4 1/2 |
| Abram Morays | 5 | 12 | 6 |
| Isaac Pinto Brandon | 18 | 1 | 6 3/4 |
| William Thompson | 31 | 3 | 8 |
| Samuel Masias Sen ^{r\$\$\$\$\$} | 3 | 2 | 3 |
| Nicholas Morrison | 5 | 1 | . |
| John Harris | 7 | 9 | 5 1/2 |
| Gibson | 2 | 10 | . |
| Blake | 1 | . | . |
| Richard Parker | 2 | 7 | 6 |

| | | | |
|---|------------|-----|-----------|
| Pereg Musgrave | 2 | 10 | . |
| Captain John Plaister | 2 | 13 | 9 |
| Hannah Richardson | 9 | 3 | 9 1/2 |
| John Kinnell | 4 | 6 | 10 1/2 |
| William Smith | 4 | 5 | 7 1/2 |
| James Webb | 46 | 6 | 7 1/2 |
| Abram Hen Sequera | 47 | 11 | 9 3/4 |
| Anthony Ghislin | 23 | 2 | 3 3/4 |
| David Mendes | 9 | 16 | 10 |
| Taylor and Jackson | 4 | 19 | 11 3/4 |
| Mrs. Mackenzie | 4 | 19 | 9 |
| Jos Davis | . | 2 | 6 |
| Peter Hughes | 1 | 4 | 2 1/4 |
| Andrew Carr | 119 | 6 | 3 1/2 |
| Edward Ganey | . | 6 | 4 |
| Isaac Rhomalo | . | 8 | 4 |
| Love Jones | . | 19 | 8 |
| Daniel Broadbelt | 1 | 5 | 6 1/2 |
| Grey and Maynard | 1 | 15 | . |
| John Pattin | 9 | . | 6 3/4 |
| Algernon Furnell | 1 | 3 | 9 |
| John Hendrick | 4 | . | . |
| | Currency £ | 874 | 18 5 3/4 |
| Which Sum being reduced to Sterling money at Forty p Cent Exchange is. | | 624 | 18 10 3/4 |

Also...Debts appearing to be due and owing to the

deced on Notes & otherwise as followeth

(to wit)

From Elisha Dodd by his Bill dated 29 Jan^{ry}

| | | | |
|--|---|---|-------|
| | 5 | 7 | 1 1/2 |
|--|---|---|-------|

| | | | | |
|--|----------|-----------|-----------|---------------|
| <p>1740 drawn on Michael Dodd in favour of the deced for £7.,10^s being Jamaica Currency which is Sterling</p> | <p>}</p> | | | |
| <p>William Crosse by his Draft on Jon Batten dated 23^d. June 1741 in favour of Vaughan and Reed for £37., 14., 6 3/4 same Currency which is Sterling</p> | <p>}</p> | <p>26</p> | <p>18</p> | <p>11 1/2</p> |
| <p>Nicholas Harman's Receipt to the deced as Surviving Partner of Vaughan dat 4th January 1743 for a Bill of Exchange wth Protest drawn by Christopher [^]Terry on Robert Wheatly for</p> | <p>}</p> | <p>40</p> | | |
| <p>William Howells draft on Isaac Hobhouse dat 17th May 1743 in favour of the deced for the Neat Proceeds of 13 Tons of Loggwood deducting thereout of Captain Robert Smith 20 Currency</p> | <p>}</p> | | | |
| <p>Also By the Books and Papers of the said deced there appears to be left in the Hands of John Bicknill of Jamaica Eight</p> | <p>}</p> | | | |
| <p>Pieces of Duroys that were Moth eaten Also... It appears the deced had a Claym in Conjunction with his Partner Vaughan out of the S^t. Joseph Prize taken from the Spaniards an Account of the Capture of and Effects taken from the Ship, Sarah by the Spaniards</p> | <p>}</p> | | | |
| <p>Also The deced Books of Acco^t and Papers</p> | | | | |

Wm Scammell

Tho Dymock

Will Cadell

Wm Winston

Thos Coward

出典：PROB 31/247/268, TNA.

(3) Thomas Mabson (職業: Victualler、教区:
City of Bristol、1717年) の検認遺産目録

これまで victualler は、免許制の酒類・食料品販売業者か、海港都市では船舶への食糧提供が主な業務と言われることが多かった。しかし、ブリストル市公文書館の検認遺産目録における victualler の一覧、商工人名録、John Saunders のケーススタディの分析からは、この業種が18世紀後半には屋号を持つ酒場を主要な業務の一つとしていたことがわかった⁽⁵⁸⁾。1775年に発刊されたブリストル商工業者を中心とした人名録スケッチレイ・ディレクトリでは、victualler は総収録数4,231人中449人と10.5%を占めている⁽⁵⁹⁾。また Victualler の中で17人を除いて、イギリスのパブで最も描かれることの多いシンボルの一つであり、インに看板を掲げることを定めたリチャード2世の紋章である白鹿 white harts をはじめとして看板に由来した屋号が付記されていた。そのため、18世紀半ば以降には、今まで言われてきたように免許・許可を受けた船舶への酒類・食料品販売にくわえて酒場を主要な業務の一つとしていたことがわかっている。

この Thomas Mabson の事例からは、1717年に検認もしくは公開されたので、それ以前の victualler の実態を知ることができる。こ

の事例は、検認遺産目録の作成でよく見られる部屋ごとの査定が行われている。そこには upper Roome、Second Roome、Malt Room、Fourth Roome、Fifth Roome、Hall、Kitchen といった家屋内の各部屋に加えて、庭 Yard、醸造小屋 brew house、貯蔵庫 Cellar、厩舎 Stable まで記載されている。キッチンを含めて少なくとも7部屋、それに関係施設を含めればかなり大規模な家屋に居住していたと考えられる。upper Roome、Second Roome、Fourth Roome はベッドや寝具が査定されているため、Mabson や家族などの寝室であったと考えられる。査定の順番から考えて Second Roome と Fourth Roome の間の3番目に記載された Malt room (おそらく 'Third Roome') は家屋の中にあり、74ブッシェル⁽⁶⁰⁾の麦芽とモルト用臼 Malt mill などが査定されている。

ブリストル市公文書館に残る victualler であった John Saunders の検認遺産目録には明らかに店舗と思われる部屋が大型テーブルや多くの椅子と共に記載され、また客に飲料を提供した酒器が数多く査定されていた⁽⁶¹⁾。それに対してこの Mabson の事例では、店舗と考えられる部屋はなく、またグラスなどもまともな査定されていない。そのため、酒場経営は行っておらず、貯蔵庫の内容から見

でも、ビールと蒸留酒の製造業に専念していたと考えられる。

また、厩舎には「2頭の老馬」が2回査定され、計4頭の馬匹を所有していたことがわかる⁽⁶²⁾。老齢であることがわざわざ記載されていることや所有馬数の多さから、激しい運動を行う乗用馬ではなく、製造されたアル

コール飲料を配達するための荷馬であったと考えられる。

18世紀後半には victualler の間で一般的となる酒場経営であるが、Mabson の事例からは、18世紀の初頭では必ずしも行われていなかったことがわかる。

表3 Thomas Mabson (職業：victualler、教区：City of Bristol、1717年) の検認遺産目録

| | | | |
|---|----|----|---|
| A true and Perfect Inven ^{ty} | | | |
| of all and Singular the Goods and | | | |
| Chattles debts and Credits of Tho Mabson | | | |
| late of the psh of S ^t Philip & Jacob in the | | | |
| City of Bristoll victualler dec ^d had taken | | | |
| and appraised by Stephen Goldsmith | | | |
| Brewer and Henry Driver Broker both | | | |
| of the Said City the 11 day of August | | | |
| 1717 as followeth Viz ^t | | | |
| | li | s | d |
| Impris the dec ^{ds} wearing Apparell | 3 | 15 | 0 |
| Money in the house when he dyed | 5 | 12 | 6 |
| In the upper Roome Eighteen dozen of bottles | 0 | 9 | 0 |
| One old bed bedstead two rugs one Cabbin | | | |
| rugg and cord | 0 | 14 | 0 |
| One old Close Stoole and pair | 0 | 4 | 0 |
| Lumber | 0 | 2 | 0 |
| Second Roome one Pcell ^{*****} of bedding & bedstead | 0 | 13 | 0 |
| Malt Room Malt 74 bushells 1/5 at 2s 6d | 9 | 5 | 6 |
| One Malt Mill | 0 | 10 | 0 |
| Six Sacks | 0 | 6 | 0 |

| | | | |
|--|-----|----|---|
| One Pcell of Hops | 0 | 10 | 0 |
| Fourth Roome one bed bolster & pillow | 1 | 10 | 0 |
| One bedstead matt cord rods and Curtain | 0 | 10 | 0 |
| One Rugg | 0 | 6 | 0 |
| One coffer & box | 0 | 3 | 0 |
| One Table | 0 | 2 | 6 |
| Window Curtain and Rod | 0 | 1 | 6 |
| Fifth Roome one Table | 0 | 10 | 0 |
| One Chest of Drawers | 0 | 8 | 0 |
| One Looking Glass | 0 | 10 | 0 |
| One pair of brass Andirons | 0 | 8 | 0 |
| One Chamber Grate Fire & tongs | 0 | 7 | 6 |
| twelve leather Chairs at 2s | 1 | 4 | 0 |
| One bed bolster and Three pillows | } 2 | 0 | 0 |
| One bedstead sacking | } 1 | 0 | 0 |
| Curtains and Rodds | | | |
| One Quilt | 0 | 12 | 0 |
| One Rugg | 0 | 6 | 0 |
| One Red blankett | 0 | 2 | 0 |
| ten sheets | 1 | 0 | 0 |
| One Long Table Cloth | 0 | 4 | 0 |
| five bolster Cases | 0 | 5 | 0 |
| five pillow Cases | 0 | 5 | 0 |
| two Course bolster Cases | 0 | 2 | 0 |
| three Towells | 0 | 1 | 0 |
| window Curtain Vallence and Cord | 0 | 2 | 6 |
| Six old Blanketts | 0 | 8 | 0 |
| Sixth Roome one feather bed and two bolsters | } 1 | 1 | 6 |

| | | | |
|---|---|----|--------|
| One bedstead sacking Curtains and rods | 1 | 5 | 0 |
| One Quilt | 0 | 10 | 0 |
| One Ovall Table | 0 | 8 | 0 |
| One Chest | 0 | 8 | 0 |
| Two window Curtains and rod | 0 | 2 | 6 |
| Three Maps and two Pictures | 0 | 4 | 0 |
| In the Hall three settles | 0 | 10 | 0 |
| four Tubs | 0 | 4 | 0 |
| One Table | 0 | 2 | 0 |
| One Table | 0 | 1 | 0 |
| 47 ^{lb} old Iron at 1 ½ ^d | 0 | 5 | 10 1/2 |
| Three old Chairs | 0 | 1 | 0 |
| One Chalk and Sower twine | 0 | 2 | 6 |
| One Curtain rod | 0 | 1 | 0 |
| Two Curtain rods | 0 | 2 | 0 |
| One P ^{se} (document broken) Making | 0 | 1 | 6 |
| Two pictures of Ships | 0 | 0 | 6 |
| One muskett and Padle | 0 | 1 | 6 |
| Kitchen 109 ^{lb} of pewter at 6 ½ | 2 | 19 | 1/2 |
| One Bushell and Peck | 0 | 1 | 0 |
| three fowling peices | 1 | 10 | 0 |
| One warming Pan | 0 | 2 | 6 |
| Three pair of brass Candlesticks | 0 | 5 | 0 |
| One brass pestle and Mortar | 0 | 2 | 6 |
| two hand Candlestiks and Sconse | 0 | 3 | 6 |
| One Grate and Racks | 1 | 0 | 0 |
| four Spits | 0 | 4 | 0 |
| two pair of Tongs | 0 | 2 | 0 |
| One Dog wheele Chain | 0 | 1 | 0 |
| one frying pan | 0 | 1 | 0 |

| | | | |
|---|-----|----|----|
| One corner fender ash Grate & Cheffin dish | 0 | 7 | 0 |
| One bellows pothooks & Gridiron | 0 | 1 | 6 |
| one Dog wheele and Spindle | 0 | 4 | 0 |
| Eight Earthen dishes punch bowle and Ladle | } 0 | 4 | 0 |
| In the Yard one Pig | 0 | 18 | 0 |
| One parcell of Wood | 1 | 0 | 0 |
| Two puncheons | 0 | 10 | 0 |
| In the brew house one furnace and Grates | 4 | 0 | 0 |
| three Coolers and Shute | 1 | 0 | 0 |
| two Meshing fats and one Tub | 0 | 16 | 0 |
| two joynt Stooles | 0 | 1 | 8 |
| One cole shovell | 0 | 1 | 6 |
| One pail two lade pails and one Bowle | 0 | 1 | 6 |
| One cole rake & forke | 0 | 1 | 6 |
| four Iron skewers | 0 | 1 | 0 |
| More in the Kitchen 4 pot metle pots 65 at 5 ^d | 1 | 7 | 1 |
| three brass pans 26 at 11 ^d | 1 | 3 | 10 |
| One p ^r Gurswele | 0 | 2 | 3 |
| three Girts | 0 | 2 | 3 |
| two pair Stirrups | 0 | 1 | 0 |
| two Canes | 0 | 4 | 0 |
| One Curtain Rod and two Curtains | 0 | 1 | 6 |
| one brass Kettle 5 at 10 ^d | 0 | 4 | 2 |
| Three old Chairs & one old fire Shovell | 0 | 2 | 6 |
| In the Cellar four ring hoop't Barrells | 0 | 17 | 0 |
| Six white hoop't barrells | 1 | 16 | 0 |
| One But and beer half full in th ^e rear Cellar | 1 | 10 | 0 |
| One Kiving Tub and horse | 0 | 7 | 0 |
| One Empty But | 0 | 6 | 0 |

| | | | | |
|--|----|-------|----|----|
| One Cask and Brandy | 0 | 11 | 0 | |
| One upright Cask | 0 | 1 | 0 | |
| Old Tubs of ale | 0 | 10 | 0 | |
| One iron pail | 0 | 1 | 6 | |
| three old horses for beer | 0 | 4 | 0 | |
| Nine brass locks | 0 | 7 | 0 | |
| two Buts and beer pricks | 4 | 0 | 0 | |
| four Empty Buts | 1 | 0 | 0 | |
| One powdering tub | 0 | 1 | 6 | |
| One h head and fower syder | 0 | 15 | 0 | |
| two small Casks and one tub | 0 | 4 | 0 | |
| three large horses for beer | 0 | 10 | 0 | |
| In the Stable and out - two old horses | 3 | 0 | 0 | |
| two old horses | 2 | 10 | 0 | |
| Horse furniture | 1 | 0 | 0 | |
| One But | 0 | 5 | 0 | |
| Six picks, Rake and Shovell | 0 | 3 | 0 | |
| two fire forks | 0 | 1 | 0 | |
| One Mow of Hay in M ^r Byams Garden | 6 | 0 | 0 | |
| One Mow of Hay in M ^{rs} Strattons ground | 8 | 10 | 0 | |
| One Leaze of Barley | 3 | 0 | 0 | |
| One Chaise and carriage | 1 | 0 | 0 | |
| Herbage of the ground | 1 | 0 | 0 | |
| the Plate weighing 50 Ounces $\frac{3}{4}$ | 12 | 13 | 9 | |
| Desperate debts due to th ^e dec ^{ds} | } | 11 | 0 | 0 |
| Estate | | | | |
| | | <hr/> | | |
| | £ | 122 | 11 | 11 |
| | | <hr/> | | |

Steph Goldsmith }
Henry Driver } Appraisers

Arthur Mabson (signed)

Extum fuit hoi Inv^m decimo die
mensis Julij Anno Dni 1718 _ per
Magrum Samlem Boheme Notm
Pubcum Procm din pro Exe pro
vero pleno et C perto Inve^o &c sub ptest
de addendo & Dei &c

Sam Boheme (signed)

出典 : PROB 31/247/268, TNA.

* deceased

† videlicet = namely

‡ Imprimis =firstly

§ Instruments

** Alexander

†† Appurtenances

‡‡ Alderman

§§ per

*** li 単位の換算: 1stone(st)=14 li (lb, pounds weight). 1quarter(qr, qtr) = 28li=2 stone.

1 hundredweight (cwt)= 4 qtr=8 st =112 li.

††† cwt

‡‡‡ quarters

§§§ containing

**** about

†††† Ditto

‡‡‡‡ yards

§§§§ Dozen

***** Inventarji

††††† Esquire

‡‡‡‡‡ dated

§§§§§ Senior

***** Parcel

4 むすび

本稿では、カンタベリー大権裁判所の検認記録の中からこれまで体系的な検討が行われていなかった遺産目録を取り上げ、史料の詳細を検討した。また、その中からブリストル地域に関係する検認遺産目録を用いて、手稿から活字化したのちにケーススタディを行った。最後に、それらによって得られた結果を述べて、まとめとしたい。

イギリス国立公文書館に所蔵されるPCCの検認遺産目録は、索引の整理が続いている段階で、いまだその全容は分かっていない。整理が終わった索引にも誤記や誤植が少なからず見られ、その使用には細心の注意が必要である。ただ、ケントとコーンウォールについての先行研究では、検認遺産目録に10%の富裕層と、40%の貧困層が含まれないと推計されているが、富裕層についてはPCCの史料によって偏在を補うことができる。PCC検認記録に残るケント地域とブリストル地域の検認遺産目録の各年の分布は、17世紀の後半から急激に増加していることからPCCの検認遺産目録を用いて体系的な分析を行うことができるのは17世紀中期以降であるということも本稿の分析からわかった。

また、PCC検認記録におけるブリストル地域の職業・地位を検討したところ、PCC検認記録に遺産目録を残した業種の上位は、商工業者や未亡人であった。そこからは彼らの地位の高さと経済的な成功がうかがえる。一方、PCC検認記録でしか見られない非常に珍しい職業も含まれることもわかった。

マリナーのケーススタディでは、ブリストル市公文書館に残る同業種の検認遺産目録に比べて、異なる傾向が見られる。これまでブリストル地域の検認遺産目録の研究では、教会文書群の手稿の東である Ecclesiastical Cause Papers (ECP) を用いてきた⁽⁶³⁾。これは、居住地の外に動産や財産を所有してい

た場合や教区外にたびたび出るなど様々な複雑な事情を持つものが、上級の教会法廷 Ecclesiastical Court において手続きを要求された事例があり、それらがECPの中に残されている⁽⁶⁴⁾。そのため、PCC検認記録と同じく遺産目録の総額が大きく、多くの家財が記載されている場合も多く、様々な職業の実態を見るのに有用な史料である。

今回ケーススタディをおこなった結果、一例は奴隷商人で、もう一例はブリストルで客死したジャマイカを拠点とする商人であったことがわかった。これらは、複雑な事情をもつブリストルのECPに残された遺産目録にも見られない事例で、非常に独特である。PCCの検認遺産目録に残された各業種の中には、かなり特殊な事情を抱えていた者もいたといえる。また victualler のケーススタディからは、18世紀後半にはその大半が酒場経営を行っていたのに対し、18世紀前半には、まだ醸造業に専念していた姿も浮かび上がってきた。くわえて、これら3例の活字化した検認遺産目録には、動産から債権に至るまで詳細に査定され、多くの情報が含まれている。このように、PCCの検認遺産目録のケーススタディを行えば、各地域のそれぞれの業種において見られる傾向と異なるさまざまな事例が出てくる可能性が高い。

検認遺産目録を使用して、それぞれの地域全体の社会経済や社会階層、あるいは品目の傾向から消費などを体系的に分析する場合、PCCの史料を除くとオバートンが言うように上位10%に含まれた人々が省かれてしまい、偏った結果となる可能性がある。その意味では、とくに18世紀のイギリスの社会経済を体系的に分析する際には、PCCの検認遺産目録を含めることが必要と思われる。

今後の課題であるが、PCCにはブリストルの海事関係の職業の中で当時もっとも多かったマリナーの検認遺産目録51例が現在確認され、そのうち18世紀に12例が現存している。この12例を中心に活字化し、比較検討してみ

たい。それにより海港都市ブリストルの発展と経済活動を支えたマリナーの実像をさらに明確にしたい。またブリストル市公文書館の251業種に含まれずPCCのみに残る職業の中でも調香師 *Perfumer*、数学者 *Mathematician*、菓子職人 *Confectioner* は、イングランド全体の検認遺産目録でもほとんど見られない職業で非常に珍しい事例であるため検討に値すると思われる。それらの遺産目録も活字化した後に分析し、これまであまり知られることがなかった職業の実像を明らかにしたい。将来的には活字化した部分をイギリスの各記録協会から出版されているような検認遺産目録集として成果を公表できればと考えている。

【注】

(※) 本稿を作成するにあたりブリストル大学元講師・シニアリサーチフェローのジョン・ムーア氏より、カンタベリー大権裁判所検認記録におけるブリストル地域の検認遺産目録の索引の提供をうけた。またこの未刊行の索引の本稿への使用にもご快諾をいただいた。10年以上にわたるご助言・ご協力に併せて感謝申し上げたい。

- (1) 検認記録全般に関する議論は、Arkell, T., Evans, N., Goose, N., (eds) (2000), *When Death Do Us Part: Understanding and Interpreting the Probate Records of Early Modern England*, Leopard's Head Press Ltd が詳しい。
- (2) Barry, J. 'Introduction' in George, E. and S. (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, Bristol Record Society's Publication Vol. 60, x.
- (3) Moore, J. (1976), *The Goods and Chattels of Our Forefathers: Frampton Cotterell and district probate inventories 1539-1804*, Phillimore.
- (4) 各シリーズに含まれる主な史料は以下のとおりである。PROB 2; 1417~1660年の

遺産目録。PROB 3; 1702年と1718~1782年の遺産目録。ただし全遺産目録ではなく、PROB 4、5、PROB 31にも含まれている。PROB 4; 1660年以前に公開された遺産目録。PROB 5; 訴訟に関係する遺産目録、主に1667~1722年。PROB 31; 1722~1858年の間に公開されたさまざまな文書。Scott, M. (1997), *Prerogative Court of Canterbury Wills and Other Probate Records*, PRO publications, pp. 64-65.

- (5) PROB シリーズの索引全13巻の冒頭、'These series lists have not been updated since 31 March 2011. For new records and improved descriptions made after this date, please search online.' (2013年4月24日最終確認)。
- (6) Moore, J. (2013), *Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA*, unpublished.
- (7) Scott, *Prerogative Court of Canterbury Wills and Other Probate Records*, x. 検認行為に関する各法令については岡部芳彦「イギリス検認遺産目録の法的背景と査定方法」『大阪大学経済学』第59巻、第3号、2009年、349頁を参照。
- (8) Scott, *Prerogative Court of Canterbury Wills and Other Probate Records*, x.
- (9) 岡部芳彦「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 *victualler* の検認遺産目録」『大阪大学経済学』63巻2号、2013年、85-89頁。
- (10) Overton, M., Whittle, J., Dean, D., Hann, A. (2004), *Production and Consumption in English Households 1600-1750*, Routledge, pp. 24-27.
- (11) 岡部芳彦「18世紀ブリストルにおける低額の検認遺産目録—商人、マリナー、未亡人、ヨーマンのケーススタディー—」『神戸学院経済学論集』第45巻、第1・2号、2013年を参照。この論文では17世紀末から

- 18世紀後半にかけて£10以下の4例(商人、未亡人、マリナー、ヨーマン)の検認遺産目録を手稿から活字化し、それぞれの遺産目録のケーススタディを通じて、その詳細を分析した。これらは商工業者から農業従事者まで幅広く、また未亡人も含まれることから男女両方の遺産目録が入っており、低額の遺産目録を残したさまざまな社会階層の分析には理想的なサンプルである。
- (12) Overton, Whittle, Dean, Hann, *Production and Consumption in English Households 1600-1750*, p. 26.
- (13) Spufford, M. (1990), 'The limitations of the probate inventory', in Chartres, J., (ed) (2006) *English rural society, 1500-1800: essays in honour of Joan Thirsk*, Cambridge University Press, pp.139-174.
- (14) Cox, N. and J., 'Probate inventories: the legal background-part 1', *The Local Historian*, Vol.16, No.3, Aug., (1984), p. 135.
- (15) George, E. and S. (1988), *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol (1542-1804)*, Bristol Record Society, xiii.
- (16) 岡部「18世紀ブリistolにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」、88頁。
- (17) 和田将幸「近世イギリスにおける階層と市場：産業革命像の再構築に向けて」関西学院大学リポジトリ、2012年、56頁。
- (18) 遺言書については、高橋基泰『村の相伝・近代英国編—親族構造・相続慣行・世代継承』刀水書房、1999年が詳しい。
- (19) なお TNA には本稿後半でケーススタディを行う3例の内、2例(Nicholas Poole、Thomas Mabson)は遺言書が残っており、1例(William Read)はなかった。
- (20) Moore, *Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA* より作成。
- (21) Rickard, G. (1998), *Kent Probate Inventories In the Prerogative Court of Canterbury 1490-1854*, Gillian Richard.
- (22) 岡部芳彦「ブリistolにおける商工業の地域的展開—ブリistol執事管区の検認遺産目録を用いて—」『神戸学院経済学論集』第41巻、第1・2・3・4号、2010年、39頁。
- (23) Goose, N. and Nesta, E., 'Wills as an historical source', in Arkell, Evans, Goose, N., eds, *When Death Do Us Part*, p. 42.
- (24) Scott, *Prerogative Court of Canterbury Wills and Other Probate Records*, p. 25.
- (25) Grannum, K., Taylor, N. (2009), *Wills and Probate Records: A Guide for Family Historians, 2nd edition*, The National Archives, p. 40.
- (26) 2ペンスの申立費用の支払いの印が押されている場合もある。
- (27) Arkell, T., 'The Probate process' in Arkell, Evans, Goose, N., eds, *When Death Do Us Part*, pp. 3-13.
- (28) ブリistol市公文書館所蔵、EP/J/2/1/1684-1804, Bristol Record Office.
- (29) 確認できた中で最長のものは約6 m30 cmである (PROB 3/41/87; William Bond, Brewer, 1742, 総額 £9,859 11s 0 1/2d)。
- (30) Moore, *Bristol Inventories among the Prerogative Court of Canterbury Probate Series in TNA* より作成。
- (31) Okabe, Y. (2012) 'Mariners in Bristol in the seventeenth and eighteenth centuries- An analysis based on probate inventories-', Discussion Papers in Economics and Business, Osaka University.
- (32) ブリistol地域の Hooper については岡部「ブリistolにおける商工業の地域的展開」、53頁。
- (33) 岡部「ブリistolにおける商工業の地域的展開」、42-43頁。
- (34) PROB 5/924, TNA.
- (35) PROB 32/58/75, TNA.

- (36) PROB 3/18/56, TNA.
- (37) PROB 3/228/149, TNA.
- (38) PROB 31/247/268, TNA.
- (39) PROB 3/17/7, TNA.
- (40) 活字化に際しては、現在では死語となった品目名などもあるため、以下の検認遺産目録用語集を参考にした。Rosemary, M. (1993), *A Glossary of Household, Farming and Trade Terms from Probate inventories*, Third edition, Derbyshire Record Society Occasional Paper No. 1. Moore, J., 'Glossary' in Moore, J. (1976), *Goods and Chattels of Our Forefathers*, : *Frampton Cotterell and District Probate Inventories 1539-1804*, Philimore & Co. Ltd, pp. 288-340. ラテン語に関しては Glare, P., ed. (2012) *Oxford Latin Dictionary: Second Edition*, Oxford University Press.
- (41) 和田将幸「ミドリング・ソートと消費—17世紀ブリストルの遺産検認目録から—」(『経済学論究』、第64巻第2号、2010年)。なお、ブリストルの商工業者に関しては一柳峻夫の一連の研究がある。Hitotsuyanagi T. (2008), 'Leading European traders in late eighteenth-century Bristol', *Journal of Teikyo Heisei University*, Vol. 19など。
- (42) これ以後はそれぞれの付表を参照。
- (43) 賃金を意味する wage due の語が含まれるためこのように呼ばれる。
- (44) Barry, J. 'Introduction' in E. and S. George (2008), *Bristol Probate Inventories Part III: 1690-1804*, Bristol Record Society's Publication Vol. 60, x.
- (45) ブリストルのワイン・チーズの貿易に関しては Jones, E. (2012), *Inside the Illicit Economy, Reconstructing the Smuggler's Trade of Sixteenth Century Bristol*, Ashgate. を参照。
- (46) Richardson, D. (1986), *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 1, The Years of Expansion, 1698-1729*, Bristol Record Office, p. 35.
- (47) Richardson, *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 1*, p. 57.
- (48) Richardson, *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 1*, p. 64.
- (49) Richardson, *Bristol, Africa and the Eighteenth Century Slave Trade to America: Volume 1*, p. 89.
- (50) Madge, D (2001), *Slavery Obscured: The Social History of the Slave Trade in Bristol*, redcliff, p. 106.
- (51) 1 stone=14 pound=6.35kg.
- (52) Philip Vandyke, Broad Quay, 1760. Samuel and Nathaniel Buck, The South East Prospect of Bristol, 1743など。詳しくは、岡部芳彦「古地図に見る16世紀から18世紀にかけてのブリストル」『神戸学院経済学論集』第45巻、第1・2号、2013年を参照。なお、同時代の黒人召使いはウィリアム・ホガースの《当世風結婚 (Marriage a-la-mode)》や《娼婦の遍歴 (A Harlot's Progress)》などの作品にも登場している。
- (53) Eickelman, C., Small, D. (2004), *PERO The Life of a Slave in Eighteenth-Century Bristol*, redcliffe Press, Bristol Museums & Art Gallery, p. 18.
- (54) アメリカの検認遺産目録には奴隷は頻繁に査定されている。それをういた研究としては Mancall, P., Rosenbloom, J., Weiss, T, 'South Carolina Slave Prices, 1722-1809' NBER Historical Working Paper No. 123, Issued in March 2000など。
- (55) 'a parvel of Negro caps' といった黒人奴隷の所持品と思われる品目が査定された事例はある。Madge, *Slave Obscured*, p. 102. また、アフリカや西インド諸島にいた奴隷が記録された検認遺産目録は PCC 検認記録の中で11例ある。
- (56) 遺産目録の査定は、£と記載されポンドスターリングに換算して行われている。

- (57) Spufford, P. (2000), 'Long-Term Rural Credit in Sixteenth and Seventeenth-Century England: the Evidence of Probate Accounts' in Arkell, Evans, Goose, N., eds, *When Death Do Us Part*, p. 216.
- (58) 岡部「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」、82頁。
- (59) Sketchley. J. (1775), *Sketchley's Bristol Directory; Including Clifton, Bedminster, and the Out-Parishes of St. James and St. Philip*, James Sketchley.
- (60) =約2,691リットル。 (おかべ よしひこ)
- (61) 岡部「18世紀ブリストルにおける酒類・食料品販売業者 victualler の検認遺産目録」、88頁。
- (62) その他に貯蔵庫などにも horse の記載が見られるが、Oxford English Dictionaryによれば、これは馬ではなく脚立や台を意味している。
- (63) ブリストル市公文書館所蔵、EP/J/2/1/1684-1804, Bristol Record Office.
- (64) E. and S. George, *Guide to the Probate Inventories of the Bristol Deanery of the Diocese of Bristol*, xv.